

市民にとって市役所ってどんな場所？－現状の市民ニーズをみる－

どのくらい行くか。

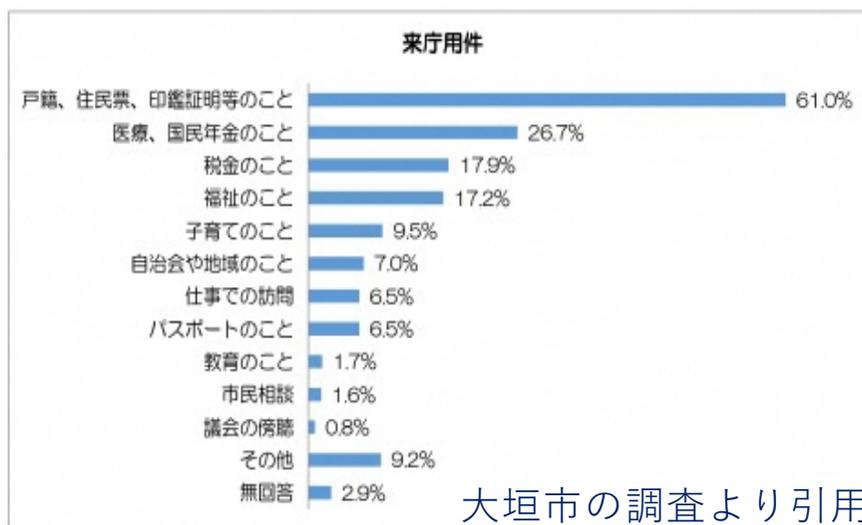
仕事の関係で来庁する人を除けば、多くの人は、0～1回、多くても5回程度ではないか。

何をしに行くか。

多くは証明などの取得。次いで申請、手続き、相談ではないか

どのくらい滞在するか。

各種証明の発行の場合は、発行までの待ち時間程度。全般的にその用途よりも待ち時間の方が長いイメージ



市民にとって市役所ってどんな場所？－現状の市民ニーズをみる－

どのくらい行くか。

仕事の関係で来庁する人を除けば、多くの人は、0～1回、多くても5回程度ではないか。

何をしに行くか。

多くは証明などの取得。次いで申請、手続き、相談ではないか

どのくらい滞在するか。

各種証明の発行の場合は、発行までの待ち時間程度。全般的にその用途よりも待ち時間の方が長いイメージ

証明 申請 相談
発行

来庁頻度：1～複数滞在
時間：数十分？

**DX化，分散化は既に
可能となりつつある**

来庁頻度：0へ
滞在時間：0へ

市民にとって市役所ってどんな場所になる？ - 将来の市民ニーズ -

どのくらい行くか。

多くの人は行かない？

何をしに行くか。

—

どのくらい滞在するか。

—

行く人

度々通う

相談など対面式のサービスを求める人

数十分程度？



市役所が担う（期待される）役割とは？
新たな市民ニーズ・新たな「公共」サービスとは？

市民 - 行政
市民 - 市民 の 共生の拠点：市役所 → まちづくりの拠点

情報の共有

課題の共有・思いの共有



情報発信

情報収集



公助

市民活動

スタートアップ支援

協働

ワークショップ

Co-working

話し合い

さらに・・・「市役所」という実空間の価値を考える

Virtual空間・オンライン	／	オンサイト・Physical空間
オンデマンド（いつでも）	／	オンタイム
対応時間	／	待ち時間
適切な情報へのアクセス	／	予期せぬ情報との出会い
プライバシー・セキュリティ	／	顔見知り
目的	／	雑談・発想
必然	／	偶然

サービスに求められる価値

空間に求められる価値

さらに・・・「市役所」という**実空間の価値**を考える

情報空間と実空間の**適切な機能配置**をした上で，こうした実空間の価値を**新庁舎にどのように実現**していくか。

そのために必要となる立地条件，敷地広さ，空間構成を考える必要がある。

市民が立ち寄りたくなる役所

オンサイト・Physical空間
オンタイム
待ち時間
予期せぬ情報との出会い
顔見知り
雑談・発想
偶然



空間に求められる価値